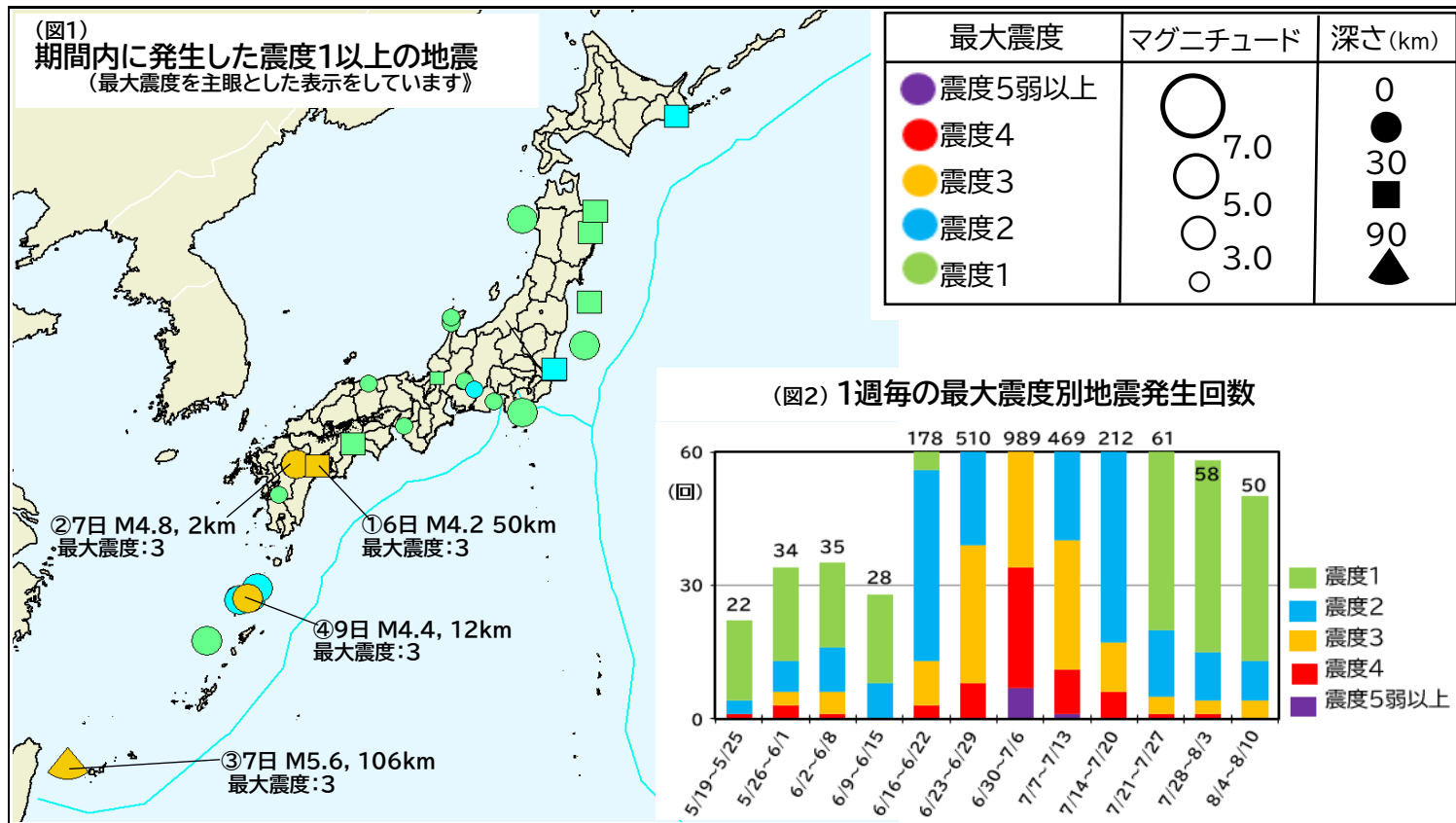


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が50回発生。最大震度は3 ■

- ①8月6日02時53分に大分県中部で発生した地震(M4.2、深さ50km)により、大分県佐伯市で震度3を観測したほか、九州地方を中心に中国地方・四国地方で震度2~1を観測。
- ②8月7日08時47分に大分県西部で発生した地震(M4.8、深さ2km)により、大分県九重町、熊本県南小国町・小国町・産山村で震度3を観測したほか、九州地方で震度2~1を観測。
- ③8月7日16時45分にと那国島近海で発生した地震(M5.6、深さ106km)により、沖縄県石垣市・与那国町・竹富町で震度3を観測したほか、沖縄地方で震度2~1を観測。
- ④8月9日00時18分にとカラ列島近海で発生した地震(M4.4、深さ12km)により、鹿児島県十島村悪石島で震度3、小宝島で震度1を観測。この期間、震度1以上を観測した地震は、震度3が1回、震度2が4回、震度1が17回、合計22回。 6月21日からの総回数は下表のとおり。

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	合計
回数	1494	559	152	51	4	3	1	2264

トピックス

■ 大分県で震度3を観測した2つの地震 ■

- ・6日と7日に大分県内で最大震度3を観測する地震がありました。
- ・6日の地震は大分県東部のやや深い所で発生した地震、7日の地震は大分県西部の浅い所で発生した地震で、2つの地震は別物です。
- ・大分県周辺で発生する地震は、九州地方の陸域のプレートと、その下に沈み込んだフィリピン海プレートとの境界やフィリピン海プレート内部で発生する地震、及び陸域のプレート内部の浅い所で発生する地震に大別されます。
- ・6日の地震は、沈み込んだフィリピン海プレート内部で発生した地震と推定され、最近、このタイプの地震で、この付近で発生した地震としては、2015年7月13日に発生した地震(M5.7、深さ58km、最大震度:佐伯市で5強)があります(図3、図4)。この地震により、大分県で負傷者3人、住家一部破損3棟などの被害を生じました(総務省消防庁による)。
- ・7日の地震は、陸域のプレート内部の浅い場所で発生した地震で、この付近で発生する地震の多くは、別府-島原地溝帯に沿って発生しています。最近、このタイプの地震で、この付近で発生した地震としては、1975(S50)年4月21日に発生したM6.4があります(図5)。この地震により、大分市と熊本県南阿蘇村で震度4、日田市で震度3などを観測(旧震度階級)→(後の現地調査によって震央付近の最大震度は震度6程度と推定された)。この地震により大分県内で負傷者22人、全壊77棟、半壊115棟などの住家被害が生じました。

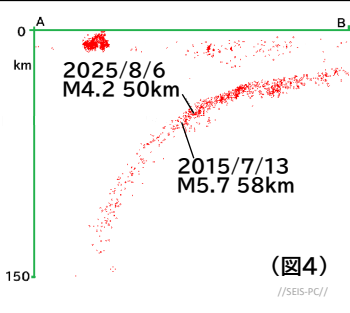
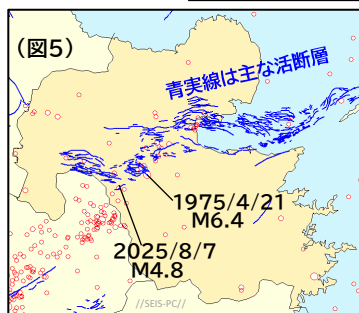
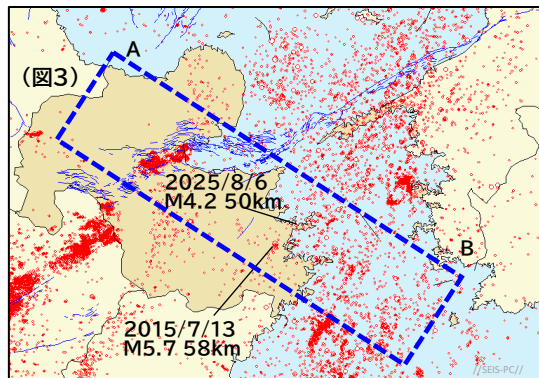


図3:震央分布図1997/10/1---2025/8/9 M $\geq$ 2.0 深さ $\leq$ 150km

図4:図3の青破線内の断面図

図5:震央分布図1919/1/1---2025/8/9 M $\geq$ 4.0 深さ $\leq$ 30km